

Fw: 東北 Fan Meeting Vol.13

関連
地域

岩手県
北海道

全線開通した 三陸鉄道リアス線

地域を担う若手人材の育て方

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

8 働きがいも
経済成長も



テーマ 働き方・働きがい

#三陸鉄道 #リアス線 #担い手育成 #エンブリッジ

参加費
無料

定員
50名

主催
復興庁

オンライン
で開催!

日時

2020

12/3 (木)

19:00~21:00

場所

オンライン開催

※インターネット会議サービス

「Zoomウェビナー」に接続

(後日、申込された方に接続先の情報をメールいたします。)

12/3

開催当日

12:00

締切

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

https://form.run/@fm-zoom-1606373681/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol13



◆ Fw:東北 ホームページ

https://www.fwthoku.com/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol13



◆ フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/fwthoku/>



全線開通した三陸鉄道リアス線

地域を担う若手人材の育て方

日時 2020.12.3 (木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 オンライン開催

企画趣旨

岩手県沿岸部を貫く路線として、地域住民の足となってきた三陸鉄道は、震災後不通の状況が続き、復旧を望む声が高まってきました。2019年3月に、JR山田線(宮古~釜石間)の経営移管を受け、三陸鉄道リアス線として全線開通し、岩手県久慈市から岩手県大船渡市まで163kmを走る、第三セクター鉄道会社としては日本最長の区間を誇る路線となりました。

三陸鉄道では、「鉄道員である前に地域住民である」という理念が共有されており、鉄道員が地域コミュニティを支える存在となってきました。地域で活躍する人材を送り出せる地元企業としての期待が集まる中、若い鉄道員にもこうした理念を共有し、「地域とともにある人材」を育てていくことが課題となっています。

一方、災厄は震災に留まらず、令和元年台風第19号による被害や現在の新型コロナウイルス感染症による影響など、地域の暮らしや経済の担い手としても打撃を受け続けてきました。このような状況下、三陸鉄道が地域企業として「地域とともにある」ために、若い人材とともに果たすべき役割は何か。三陸鉄道株式会社から、旅客営業部長兼統括駅長の橋上和司さんをお招きし、現状や展望について、お話を伺います。

他地域のゲストには、地域企業の新規プロジェクト推進を手がける学生インターンのコーディネートを行っている、特定非営利活動法人北海道エンブリッジから、代表理事の浜中裕之さんをお招きします。北海道エンブリッジが、「10年後の社会に必要とされる仕組み」をつくる次世代の起業家型リーダー輩出、地域の課題を解決する取組を行う団体として行っている活動についても伺いながら、地域企業と若者双方の成長、発展をどのように描き、促していくべきかを考えます。

登壇者 ※敬称略

◆ 橋上 和司 (三陸鉄道株式会社 運行本部 旅客営業部 旅客営業部長兼統括駅長)

[他地域登壇者]

◆ 浜中 裕之 (特定非営利活動法人北海道エンブリッジ 代表理事) (北海道)



橋上 氏



浜中 氏

プログラム(予定)

18:30	開場 (接続開始)
19:00	開会メッセージ/趣旨説明/ 参加者意識調査/アイデア募集
19:10	インプットトーク 三陸鉄道株式会社 運行本部 旅客営業部 旅客営業部長兼統括駅長 橋上 和司 氏
19:30	インプットトーク 特定非営利活動法人北海道エンブリッジ 代表理事 浜中 裕之 氏
19:50	パネルディスカッションなど
20:20	アンケート記入/Fw:東北活動紹介
20:25	閉会メッセージ
20:30	オンライン上での交流タイム(~21:00)

こんな方にオススメ!

- ・地域の若手人材育成について関心のある方
- ・三陸鉄道の復興、発展に関心のある方
- ・地域企業による地域活性化へのコミットメントについて関心のある方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、東北被災地における「新しい東北」の創造に向けた取組やそれらに取り組む人々にフォーカスし、認知向上や共創の輪の拡大及び東北の防災・減災、復興の経験値の共有を目指し、復興庁が主催する各種イベントを全国各地で多数展開(年間15回程度)いたします。